

週刊 タバコの正体

多くの人が集まる場所は受動喫煙を防止するために、禁煙となっているところがほとんどです。ところが、もっともタバコの煙やニオイがして欲しくないと思う飲食店が禁煙になっていない場合が多い事

「禁煙スタイル」サイト掲載の禁煙飲食店数

	2009年 1月	2019年 2月	倍率
東京	3778	7635	2.0
愛知	1416	8857	6.2
大阪	1332	3025	2.2
京都	809	3172	3.9
兵庫	752	2392	3.1
奈良	110	408	3.7
滋賀	95	250	2.6
和歌山	17	98	5.7
全国	12631	48272	3.8

を知っているでしょうか。これは、「タバコは大人の嗜好品しこうひん」だとされた一昔前の慣習で、食事をしながらタバコを吸うのは当たり前だった時代が長かったせいなのです。

しかし、左の表を見てください。禁煙飲食店を紹介する「禁煙スタイル」サイトに掲載された禁煙飲食店の数はこの10年で3倍以上になりました。喫煙率も随分減りましたから当然の流れです。

さらに、下のグラフは「喫煙可能だった飲食店が、禁煙になったらあなたはどうしますか」というアンケート調査の結果ですが、禁煙にすると「利用回数が減る」と答えた人より「増える」と答えた人の方が3倍以上もいたそうです。

喫煙率

10年

男性	39.5%	27.8%	-11.7%
女性	12.9%	8.7%	-4.2%

タバコの煙とニオイがする飲食店より、きれいな空気のお店が望まれている、という事でしょうね。

産業デザイン科 奥田 恭久

